シカモア日本語教室

かし組　　名前

しゅくだいたしかめひょう　１月１４日～１月２０日

おわったらサイン		今　週　の　し　ゅ　く　だ　い
	１	音読　教科書　Ｐ８３～９３
	２	かん字がくしゅうノート　Ｐ６３～６８（北・牛・引・売・弱） １月２０日午後５時までに提出
	３	単元のふりかえり「にたいみのことば，はんたいのいみのことば」・「かん字のひろ場」
	４	ことばと文「はんたいのことば」・「げんこう用紙のつかい方⑪」
	５	つづけてみよう㊶（ならったかん字をつかって書きましょう）
	６	二年生のかん字　かん字の読みがなをつけましょう⑦・書きましょう⑦
	７	かん字テストのれんしゅう㉘（来週のかん字を書くテスト㉘）
	８	かん字を読む㉘（来週のかん字を読むテスト㉘）
	９	１月の歌「北風こぞうのかんたろう」を歌う

音読カード　　きのうよりじょうずに読めたかな

よくできた ☺　　できた 😐　　もうすこし ☹

読んだところ　（　おにごっこ　）							
読　む　め　あ　て	土	日	月	火	水	木	金
①　しせい正しく							
②　大きな声ではっきりと							
③　点や丸でくぎってゆっくりと							
④　正しくまちがえないで							
⑤　ないようが分かる							
おうちの人のサイン							
先　生　の　し　る　し							

にたいみのことば、はんたいのいみのことば

(1) つぎの――線のことばと　にた　いみのことばを（　）に書きましょう。

① わたしは、いつもの道を通って　学校に行っています。
（　　）

② キャンプ場で見た　うつくしい星空を思い出します。
（　　）

③ おかあさんに　小さいころのことをたずねました。
（　　）

④ ぼくは、家で　友だちのことを　よくしゃべります。
（　　）

(2) 「ぬぐ」の　はんたいの　いみのことばはいくつかあります。（れい）のように（　）にあてはまる　はんたいのいみのことばを書きましょう。

（れい）
ぼくは　くつを　ぬぐ。
くつを（はく）。

①
ぼくは　ぼうしを　ぬぐ。
ぼくは　ぼうしを（　　）。

②
ぼくは　ふくを　ぬぐ。
ぼくは　ふくを（　　）。

(3) ――線のことばと　はんたいの　いみのことばを（　）に書きましょう。

①
へやに　入る。
へやを（　　）。

②
細い　木のえだ。
（　　）木のみき。

③
ぼくは　左に行く。
わたしは（　　）に行く。

④
いもうとは　上のベッド。
おとうとは（　　）のベッド。

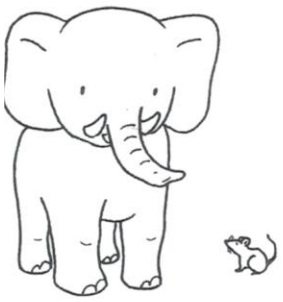
(4) つぎの　はんたいの　いみのことばを（　）に書きましょう。

① 立つ　→　（　　）

② 大きい　→　（　　）

③ 高い　→　（　　）

④ 少ない　→　（　　）



かん字の広場　5

●主語と述語のつながりに気をつけて、公園のようすを書きましょう。

〈れい〉男の子は、竹うまの名人です。

ことばと文のれんしゅう　「はんたいのことば」

はんたいのことば

❶おぼえましょう

◇ はんたいのようすやうごきをあらわすことばがあります。

外は、明るい。↔外は、くらい。

早くおきる。↔早くねる。

くつをはく。↔くつをぬぐ。

前のせき。↔後ろのせき。

※ どこから見ているかによって、言いあらわし方がはんたいになることがあります。

❷れんしゅうしましょう

1 ——とはんたいのいみのことばを、□からえらんで（　）に書きましょう。

① 人数が少ない。 ↕ （　　）

② 家がとおい。 ↕ （　　）

③ いきをすう。 ↕ （　　）

④ まどをあける。 ↕ （　　）

⑤ 火をつける。 ↕ （　　）

けす・はく・しめる・多い・近い・小さい

2 絵にあうように、「くる」か「いく」のどちらかを、□に書きましょう。

① ボールが、きゅうにとんで□。

② 友だちが、二かいに上がって□。

③ おとうさんが、家に帰って□。

④ 犬が、元気よくはしって□。

⑤ 空から雨がふって□。

ことばと文　「げんこう用紙のつかい方　⑪」

「　」で　行を　かえて　右がわに　書きましょう。

「	話	」		話	「
と					と
					な
					り
					に
					す
					わ
				。	っ
					て
					い
					る
					子
					に

話			」		ど
し	と				ん
か	な				な
け	り				ペ
ま	に				ッ
し	す				ト
た	わ				を
。	っ				か
「	て				っ
お	い				て
う	る				る
ち	子				の
で	に				」。

つづけてみよう㊶　（一月十四日～一月二十日）

心にこったことを書いてみましょう。（できごと・見つけたこと・はじめて知ったこと・本で見つけたことば・人に言われたことば　など）

日	１４日（土）	１５日（日）	１６日（月）	１７日（火）	１８日（水）	１９日（木）	２０日（金）
心に　のこった　できごと							

二年生のかん字　**かん字に読みがなをつけましょう　⑦**

① 弓矢と刀が後ろの戸だなにある。

② 三角じょうぎで直線を引く。

③ 海がんに力強い形の岩がある。

④ 弱い力だが半分はまとに当たった。

⑤ 顔や体つきがよくにた兄弟だ。

弓

ゆみ　弓を引く

弓の形を字にしました。

引

ひく　イン　つな引き　引力

弓と一から引になりました。弓を引くという意味から、いろいろなものを「ひく」ことを表します。

強

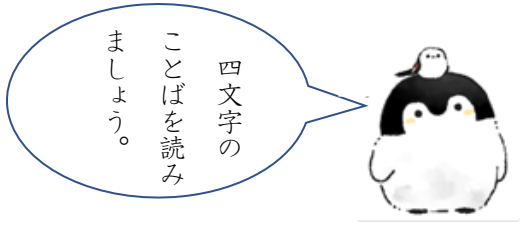
つよい　キョウ　風が強まる　強力

弘と虫から強になりました。虫から取り出した糸を弓にはると強かったので、「つよい」ことを表す字にしました。

弱

よわい　ジャク　弱い雨　強弱

弓をならべた字。弓は、儀式のときに使うかざりのついた弓で、弱い弓です。それで「よわい」ことを表す字にしました。



二年生のかん字　かん字を書きましょう　⑦

① □(ゆみ)□(や)と□(かたな)が□(うし)ろの□(と)だなにある。

② □(さん)□(かく)じょうぎで□(ちょく)□(せん)を□(ひ)く。

③ □(かい)がんに□(ちから)□(づよ)い□(かたち)の□(いわ)がある。

④ □(よわ)い□(ちから)だが□(はん)□(ぶん)はまとに□(あ)たった。

⑤ □(かお)や□(からだ)つきがよくにた□(きょう)□(だい)だ。

書けなかったかん字をれんしゅうしよう

かん字テスト㉘のれんしゅう

★来週のかん字テストのもんだいです。（　　）にかん字の読み方を書き、二番目のかん字をていねいになぞってから、二回れんしゅうしましょう。

❶ 北（　　）
なぞろう
北

❷ 牛（　　）
牛

❸ 少年（　　）
少年

❹ 引く（　　）
引く

❺ 兄弟（　　）
兄弟

❻ 売る（　　）
売る

❼ 弱る（　　）
弱る

かん字を読む㉘

①から⑩まで声に出して読みましょう。

土	日	月	火	水	木	金

↑読んだら○をつけましょう。

① 音楽の楽しみ方。
② 近くの公園まで走る。
③ 兄は竹馬の名人。
④ 友だちと音読げきをする。
⑤ 広い野原で絵をかく。
⑥ 妹が風車を回す。
⑦ 外国の土地の名前。
⑧ 新しい理科室に入る。
⑨ 父が東京から帰る。
⑩ 遠足に行く時間。

① おんがくのたのしみかた。
② ちかくのこうえんまではしる。
③ あにはたけうまのめいじん。
④ ともだちとおんどくげきをする。
⑤ ひろいのはらでえをかく。
⑥ いもうとがかざぐるまをまわす。
⑦ がいこくのとちのなまえ。
⑧ あたらしいりかしつにはいる。
⑨ ちちがとうきょうからかえる。
⑩ えんそくにいくじかん。

☆来週の読むテストのもんだいです。これまでならったかん字です。ぜんぶ読めるようにしておきましょう。一日一回、声に出して読みましょう。